

教育創造委員会

委員長 小田島 寛之

【基本方針】

スマートフォンやインターネットをはじめとする情報化社会は、SNSをはじめとするコミュニケーションツールとして、また何でもわかる辞書として私たちの生活には欠かせないものとなりました。しかし、その一方で対面し言葉を交わす機会が少なくなり、誹謗や中傷がインターネット上に広がっています。また
5 答えをすぐに出せることにより物事を簡単に考え、継続して夢を追いかける子どもが少なくなっていると考えます。そういったことから、子どもという感性が豊かな時期に礼儀作法を習得し、思いやりの心を育むこと。また物事を自分で考え、行動できる人間になるために発想力・想像力を養う必要があります。私たち教育創造委員会は、それを未来を生き抜く力とし、1年間の事業を
10 構築致します。

5月例会では、人間関係を形成する上で重要な礼儀や相手を思いやる気持ちを育むことの出来る相撲に目を向けます。相撲は、相手に礼を尽くし、勝者を称え、敗者を敬うことの出来る武道です。また練習をする上で目標設定をし、自らの課題を見つけ、それに挑むことで、目標に向かって継続していく
15 ことの大切さも体得します。第30回という節目の「こだま場所」を開催し、先輩諸兄姉の残した過去の歴史を最大限に活かした大会にします。さらにメンバーが一丸となり設営のこだまという、先輩方が築き上げた伝統に磨きをかけます。

10月例会では、子どもたちの発想力や表現力を育むことを目的とし、1人
20 では作れないものを共同で完成させ、最終的に1人1人が違う形に再生させるワークショップを行います。子どもたちが型に捉われず発想したことを自由に表現するだけでなく、自分の力で考え、疑問に思ったことを解決しながら創作することで、学ぶことの楽しさを知ってもらいます。そうすることで主体性を持ち家庭での継続した学びに繋げていきます。そして、子どもたちが発想した
25 ことや、表現した経験が自信に変わり、主体的に考えられる力を育みます。

それぞれの例会を通しての学びや経験が糧となり、目標に向かいやり抜く力を持ち、優しさを兼ね備えた人財の育成に繋がり、未来を生き抜く力になると確信します。また、同じ時間を共有することで出来た仲間意識や繋がりがその後も続き成熟していく事にも期待します。さらに、私たち大人も子どもた
30 ちの成長を学び考えていく中で変化し、一緒になって成長していけると考えま

す。

個性や特性を持った知識の集積こそが、こだま青年会議所を動かす力という意識のもと会員拡大委員会とともに1人でも多くの会員の拡大を行います。

35 最後になりますが、皆様からお力をお借りし、本年度を通し私自身も変化・成長出来るよう全力で邁進してまいります。宜しくお願い申し上げます。

【事業計画】

1.5月例会第30回わんぱく相撲「こだま場所」の開催

2.10月例会の開催

3.わんぱく相撲練習会の開催

40 4.第28回わんぱく相撲埼玉ブロック地区大会への参加

5.会員拡大をする

【事業予算】

700,000円